

世界の発展に貢献する 日本のIT技術



株式会社NTTデータ
[代表取締役社長]

山下 徹
Toru Yamashita

当社は近年、グローバルビジネス基盤の拡大に努めております。私はここ数年で、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、そしてブラジルといった国・地域のほとんどすべてのグループ会社を回り、現地社員と直接ディスカッションをしてきました。すべての国で共通して感じたことは、日本のIT技術に対する期待というのが、いかに大きいかということです。日本は「ガラパゴス」などと揶揄されていますが、少なくとも先進的なITサービスについては、海外の期待は大変高いと感じました。日本では当たり前前に動いているシステムの中にも、海外では導入されておらず関心の高いものが多数あります。当社システムの中でそれらに該当するものをいくつかご紹介します。

まず、カード決済総合システム「CAFIS」です。日本では国内どこでもクレジットカードは使えますし、さらにはドコモのiDなど携帯電話を使った決済、交通ICカードを使った決済など、あらゆるところであらゆる金額の決済ができる環境が整っています。このような便利な決済システムが構築されているのは、世界中でも日本だけです。そして、この環境を下支えしているシステムが「CAFIS」です。

次に、飛行経路設計システム「PANADES」は、地図上に航空機の飛行区域を描き、さらには飛行区域内の構造物を検証するシステムです。もともと日本のお客様を対象にしたシステ

ムでしたが、非常に複雑な幾何計算を実行し、高いレベルで自動化されている点が評価され、タイ、ベトナム、インドネシアでも導入していただくこととなりました。

また、橋梁監視ソリューション「BRIMOS」では、橋に設置した多量のセンサーの情報を毎秒数千件レベルで蓄積し、解析することにより、異常の即時検知や経年劣化状況の推定、交通管制への応用といったことにも役立っています。この「BRIMOS」は首都高速での実績をもとに、2010年より中国の無錫市で実証実験を行っております。また、本年2月に開通した東京ゲートブリッジには、構築時より組み込まれています。

一方、日本には、課題先進国とも呼ばれるほど世界の先進的な課題があります。代表例としては超高齢社会です。日本は世界中で最も少子高齢化が進んでおり、超高齢社会を迎えるのは人類初めての経験です。

これまでに蓄積した高度な技術やシステムだけではなく、これら最先端の課題を解決するために生み出される新しいソリューション、ノウハウ、技術を海外にも展開することで、貧困や食糧難、高齢化といったグローバルな社会課題の解決に貢献することが、われわれ日本企業に与えられた使命であり、飛躍の大きなチャンスであると思っております。